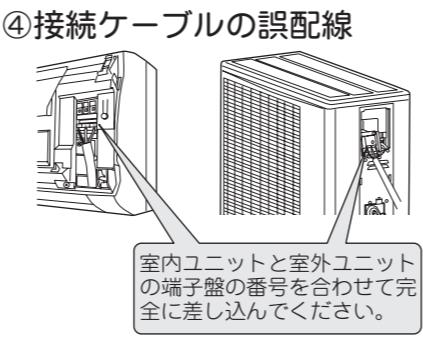
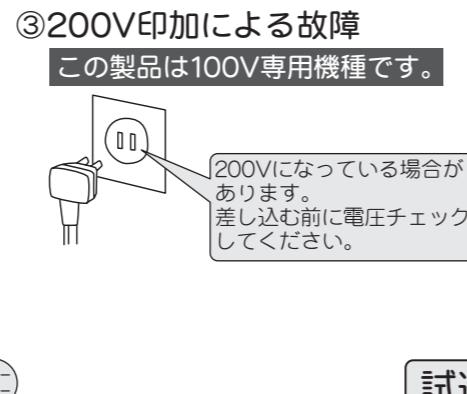
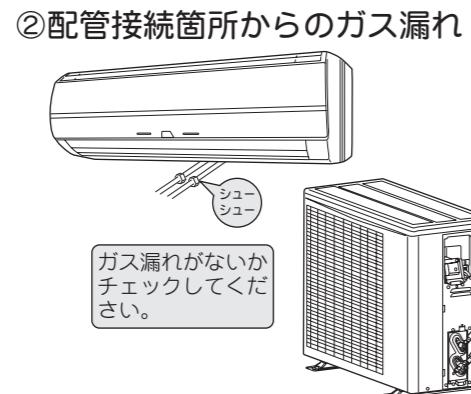
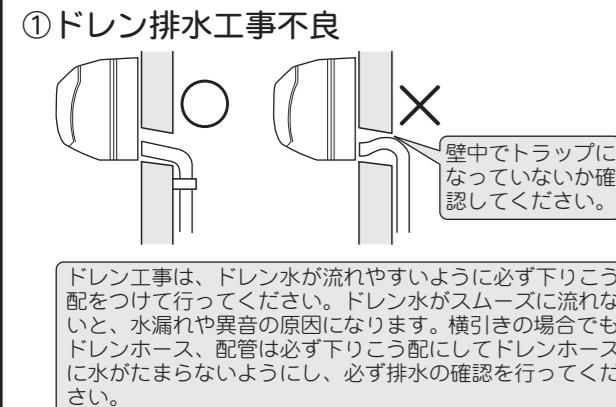


# ルームエアコン据付説明書

9331314077-01

工事不良は次の4つが大半を占めています。



試運転を必ず実施してください。

## 安全上のご注意

- 据付工事前にお読みになり、正しく据え付けてください。
- ここに記載した注意事項は、いずれも安全に関する重要な事項ですので、必ず守ってください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また取扱説明書に従ってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書、保証書と共にお客様が保有頂くように依頼してください。

**警告** 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがあるもの。

**注意** 取扱いを誤った場合、傷害を負うおそれがあるもの。

図記号の意味は次の通りです。

- 据付工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。  
○ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れやケガ、感電、火災などの原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行ってください。  
○ 据付工事に不備があると、水漏れやケガ、感電、火災などの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず付属品および指定の部品を使用してください。  
○ 当社指定部品を使用しないと、室内外ユニットの落下、水漏れ、感電、火災などの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気してください。  
○ 冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。
- 配管、フレアナット、工具は、冷媒R410A専用のものを使用してください。  
○ 既存（R22）の部品を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。
- 据付けは、室内外ユニットの重心に十分耐える所に確実に行ってください。  
○ 据付け工事に不備があると、室内外ユニットの落下によるケガなどの原因になります。
- 冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外のものを混入させないでください。  
○ 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
- 電気工事は、電気工事の資格を持っている人が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および、据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。  
○ 電源回路容量不足や施工不備があると、感電、火災などの原因になります。

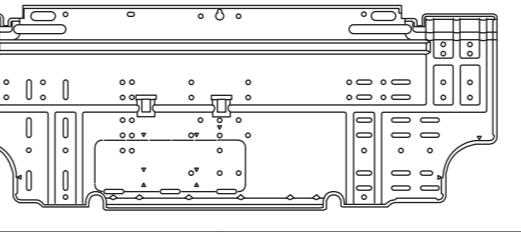
**警告**

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

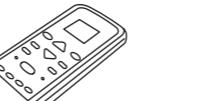
## 標準付属部品

※印は室外ユニット同梱。

●据付板 ×1



●リモコン ×1



●乾電池(単4) ×2

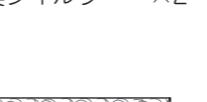


●リモコンホルダー ×1



●ネジ(小) ×2  
(φ3×12)  
リモコンホルダー取付用

●空清脱臭フィルター ×2



●フィルター枠 ×2

●クロステープ ×1



●ネジ(大) ×5  
(φ4×25)  
据付板取付用

※ドレン排水管 ×1



## 1.電源について

- この製品は、100V専用機種です。誤って200Vに通電すると内部の電気部品が破損し運転できなくなります。
- 電源コードは、200Vでの(II)形コンセントに変更する場合は、電圧を100Vに変更してください。

### 警告

- 電気工事・アース工事は、電気工事の資格を持っている人が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」に従って施工してください。
- ・電気工事に不備があると、感電、火災の原因になります。

- 電源は必ず専用の分歧回路にし、専用のコンセントを設けてください。

- ・電源回路の容量不足などがあると、火災の原因になります。

- 電源プラグを差し込む際は、電源プラグ側だけでなくコンセント側にもホコリの付着、詰まり、がたつきがないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込んでください。

- ・ホコリの付着、詰まり、がたつきがあると、感電、火災の原因になります。

- コンセントにがたつきがある場合は、交換してください。

- ・電源コードの改造や延長はしないでください。

- ・感電、火災の原因になります。

### 注意

- 温湿度の多い所、雨水など水気のある所に設置するときは漏電しや断器の取付けが必要です。
- ・漏電しや断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。

## 2.穴あけ

- 壁穴は、直径65mmの穴を外側に下りぎみにあけます。(下図参照)

- 壁穴用パイプは壁の厚さに合わせて切断し、ウォールキャップをはじめ、穴に挿します。

- 壁穴用パイプ(現地手配)

- 壁穴用パイプは、市販のパイプ外径60mmを使用してください。

- ウォールキャップ(現地手配)

- ウォールキャップのフランジ径が72mm以上ものを使用する場合は、図のよう36mmに下側のフランジをカットしてください。

- 下側のフランジをカットしてください。

- (室内側) (室外側)

### 警告

- 壁の構造(メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属張りの壁)によっては、壁穴用パイプを使用しないと、漏電などの原因になるため、法律でその使用が定められています。

## 3.据付板の取付け

### 警告

- 据付板は、大人の体重程度の重さに耐えるように取り付けてください。
- ・取付けに不備があると、室内ユニットの落下の原因になります。

### 注意

- 据付板は、水平・垂直に取り付けてください。
- ・傾きがあると水漏れの原因になることがあります。

#### 壁に直接取り付ける場合

- ①水準器などを用いて水平を確認してください。
- ②据付板は、外周に近い穴をネジ(大)5本以上用いて固定します。

- ・据え付けは、壁内に構造物を利用して重曹に十分耐えられるよう行ってください。

- ③据付板にこげきがないことを確認してください。

- ・据付板を壁に直接取り付ける場合は、据付板を壁に直接取り付け、2つの袋ナットで固定してください。

- 据付板用穴を利用して固定する場合は、据付板を壁に直接取り付け、2つの袋ナットで固定してください。

- ・据付板用穴を利用して固定する場合は、据付板を壁に直接取り付け、2つの袋ナットで固定してください。

- ・据付板用穴を利用して固定する場合は、据付板を壁に直接取り付け、2つの袋ナットで

## 6.配線の接続

### △警告

- 接続ケーブルはVVFケーブル直径2.0mmを使用してください。より線は絶対に使用しないでください。
- より線を使用すると火災の原因になります。
- 端子盤への接続ケーブルの差し込みは確実に行ってください。
- 差し込みが完全でない場合は火災の原因になります。
- 接続ケーブルは必ず配線押さえで固定してください。
- 接続ケーブルを途中で接続しないでください。
- 故障、感電、火災などの原因になります。

### 室内ユニットの配線

- ①吸込グリルを開きます。
- ②配線押さえをはずします。
- ③接続ケーブルを室内ユニット裏側から通します。
- ④接続ケーブルの先端を端子盤に確実に差し込みます。(むき出し部の芯線は、まっすぐにしてむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。)



### 【より線使用禁止】

- ⑤接続ケーブルを配線押さえで固定します。
- ⑥接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。
- ⑦接続ケーブルは、上図矢印の範囲内で室外ユニット後方に突出します。(接続ケーブルを範囲外に通すと、電装カバーが取り付けにくくなります。)
- ⑧吸込グリルを閉めます。

### 室外ユニットの配線

- ①電装カバーをはずします。(右回参照)
- ②端子盤カバーをはずします。
- ③室外ユニットの配線押さえをはずします。
- ④接続ケーブルの先端を端子盤の奥までしっかりと差し込みます。(むき出し部の芯線は、まっすぐにしてむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。)
- ⑤接続ケーブルの外装部を配線押さえでしっかりと固定します。
- ⑥端子盤カバーで接続ケーブルをはさみ込んでください。
- ⑦ケーブルが傷つきショートするおそれがあります。

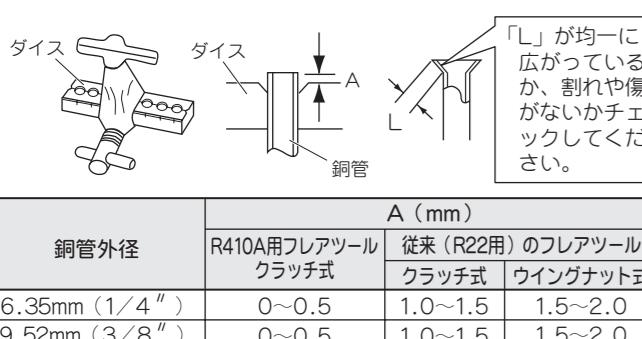
### 【より線使用禁止】

- ⑧接続ケーブルを配線押さえで固定します。
- ⑨接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。
- ⑩接続ケーブルは、ひっかけ部およびツメを穴に挿し取付ネジで固定してください。
- ⑪接続ケーブルは、上図矢印の範囲内で室外ユニット後方に突出します。(接続ケーブルを範囲外に通すと、電装カバーが取り付けにくくなります。)
- ⑫吸込グリルを開めます。

## 7.配管の接続

### フレア加工

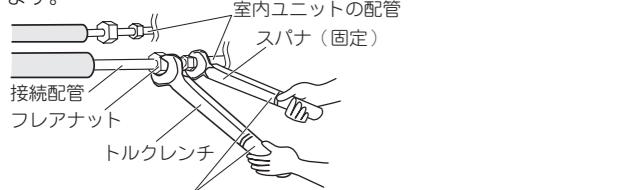
- ①パイプカッターで接続配管を必要な長さに切断します。
- ②切粉が銅管に入らないよう下向きにしてバリを取ります。
- ③フレアットを銅管に挿入し、フレア工具でフレア加工します。



### 配管の接続

- 配管は折れ防止のため、急激に曲げたりせず半径70mm以上で曲げてください。
- 配管は同じ箇所の曲げ伸ばしを何度も行いますと、折れるおそれがありますのでご注意ください。
- 本体のフレアットは、配管接続の直前まではずさないでください。
- フレア工具の冷凍油の塗布は行わないでください。

- ①室外側ウォールキャップ(現地手配)を壁穴用パイプに取り付けます。
- ②室内ユニットの配管と接続配管の中心を合わせ、手で十分フレアナットを締めた後、トルクレンチを使用し、2丁スパン方式で規定のトルクで締め付けます。
- ③室外ユニットの弁部と接続配管の中心を合わせ、手で十分フレアナットを締めた後、トルクレンチを使用して規定のトルクで締め付けます。



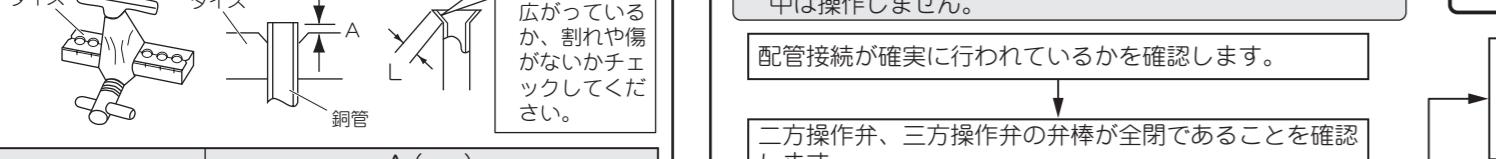
### △警告

- フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付けてください。
- フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れて冷媒漏れし、有毒ガス発生の原因になります。

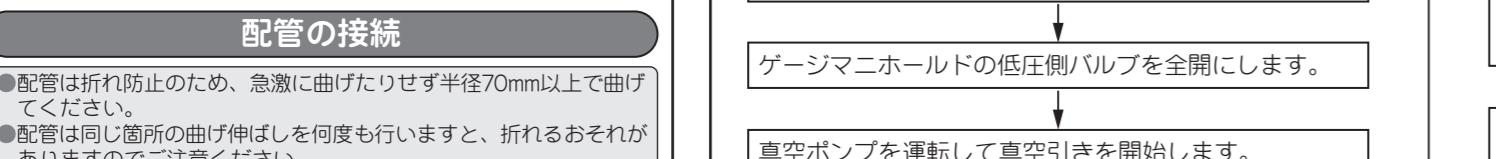
### 8.エアバージ・ガス漏れ検査

#### ※エアバージは必ず真空ポンプ方式でお願いします。

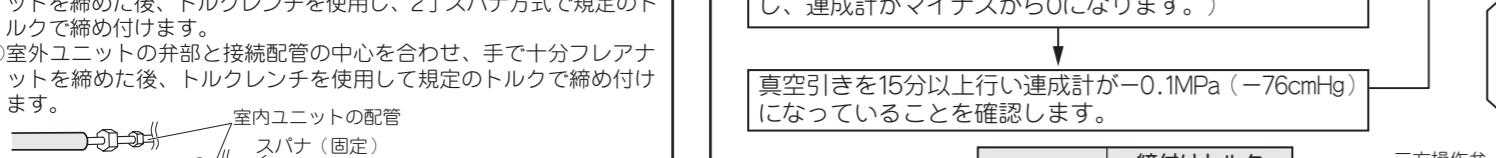
- 配管長が10mを超えて15m以下の場合は、冷媒追加チャージを下記の計算により行います。  
追加冷媒チャージ量(g) =  $20g/m \times (配管長m - 10m)$   
(例)配管15mのときの追加チャージの計算:  $20g/m \times (15m - 10m) = 100g$
- ゲージマニホールドの高圧側バルブは全閉で、以下の操作中は操作しません。



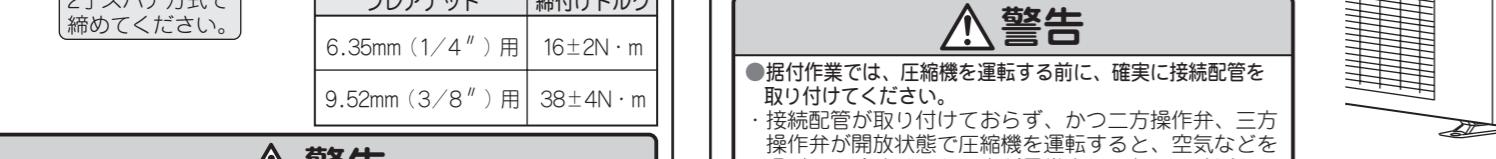
- 配管接続が確実に行われているかを確認します。
- 三方操作弁、三方操作弁の弁棒が全閉であることを確認します。



- 三方操作弁のチャージロキヤップをはずし、チャージロにゲージマニホールドのチャージホース(バルブコア押しの突起が突出している側)を接続します。
- ゲージマニホールドの低圧側バルブを全閉にします。



- 真空ポンプを運転して真空引きを開始します。
- 三方操作弁のフレアナットを少しゆるめ、空気が入ってゆくことを確認し、フレアナットを再度締めます。(フレアナットをゆるめると真空ポンプの運転音が変化し、連成計がマイナスから0になります。)



- 真空引きを15分以上行い連成計が-0.1MPa(-76cmHg)になっていることを確認します。
- 接続配管を取り付けておらず、かつ二方操作弁、三方操作弁が開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

### △警告

- 接付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に接続配管を取り付けてください。
- 接続配管が取り付けておらず、かつ二方操作弁、三方操作弁が開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

### △警告

- 以上の作業が終わったら、ガス漏れ検知器などにより配管接続箇所からのガス漏れがないか調べてください。(なお、従来冷媒(R22用)ガス漏れ検知器では、HFC系冷媒(R410A)の検出能力が低いため、HFC系冷媒対応のガス漏れ検知器を使用してください。)

## 9.アース工事

### △注意

- 必ずアース工事を行ってください。アース工事は、販売店または専門業者に依頼してください。
- 誤配線すると電気部品を焼損することがあり、発煙、発火の原因になります。
- 配線押さえでの固定は、必ず接続ケーブルの外装部を押さえてください。
- 締結体を押さえると漏電し、感電の原因になることがあります。
- 端子盤カバーで接続ケーブルをはさみ込まないでください。
- ケーブルが傷つきショートするおそれがあります。

### 接地の基準

- 接地の基準は、エアコンの電源電圧および設置場所により異なります。下表により接地工事を行ってください。

エアコンの設置場所	水気のある場合に設置する場合	湿気のある場合に設置する場合	乾燥した場合に設置する場合	電源の条件	
				エアコンの種類	
対地電圧が150V以下の場合	100Vの機種 (単相1線式 200Vの機種)		D種接地工事が法的には認められますが、安全のためD種接地工事を行ってください。	100Vの機種 (単相1線式 200Vの機種)	
対地電圧が150Vをこえる場合	3相200Vの機種 および単相2線式 200Vの機種	漏電しや断器を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。		3相200Vの機種 および単相2線式 200Vの機種	

### D種接地工事について

- 接地工事は、電気工事の資格を持っている人が行ってください。
- 接地抵抗は、100Ω以下であることを確認してください。ただし漏電しや断器を取り付けた場合は、500Ω以下であることを確認してください。

### 乾燥した場所に設置する場合

- 接地抵抗は、100Ω以下になるようにしてください。

### 接地工事のしかた

- アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース用ネジは、室内・室外の両ユニットにあります。どちらか一方でアースを取り付けてください。

### 室外ユニットからアース工事を行なう場合

- アース棒は同端で接続されません。別売の形名: APS-09Aを使用するか、または現地手配。

### 室内ユニットからアース工事を行なう場合

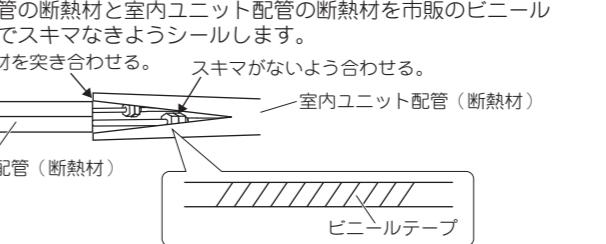
- 配線押さえをはずし、アース用ネジ(直径1.6mm以上または断面積2.0mm<sup>2</sup>以上のアース線)を取り付けてください。
- アース棒は室内ユニットから接続ケーブル用の穴を通して接続してください。

### 電装カバーの取付け

- 室外ユニットの電装カバーを取り付けてください。(取付けかたは、「6.配線の接続」の項目を参照してください。)

## 10.仕上げ

### 配管接続部の断熱



### 接続配管の固定

- 接続ケーブルを接続配管に沿わせてテープで仮止めし、本体より外見れる部分に化粧テープを巻きます。右出し、左出し、左下出し配管の場合は、本体から出る部分の化粧テープをしっかりと巻いて、配管が膨らまないようにしてください。(屋外になる部分では、水が入り込みないようにしてみてください。)

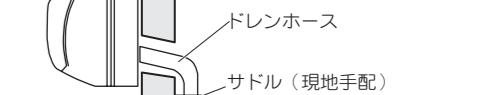
- 接続配管は、サドルなどで外壁に固定します。

- 外壁の配管穴と配管の隙間に雨水が吹き込みないようシーラーパテなどで完全にふさいでください。



### ドレンホースの固定

- ドレンホースは、外壁などに固定してください。(ドレンホースは、必ず下りこう配をつけて固定してください。)



### △注意

- ドレンホースが下図のようにならないことを確認してください。下図のようになっていたり、屋内に浸水し、家財などを濡らす場合があります。



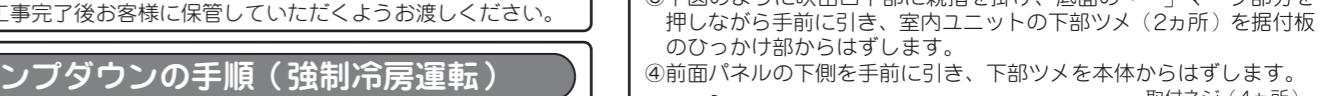
- 持ち上げている。波打っている。先端が水につかっている。
- 高層住宅、高気密住宅などで強い風を受けた時や、換気扇(レンジフードなど)を使用したときに、ドレンホース内に空気が室内側に流れ、異音(ボコボコ音など)が発生することがあります。対応部品(有償)を用意しておられますので、サービスセンターへお問い合わせください。
- ドレンホースを下水道に入れないようしてください。下水道内で発生した硫化水素などの腐食性のガスが熱交換器を腐食させ、ガス漏れが起こる場合があります。

### 前面パネルのはずしかた

- 吸込グリルをはずします。(吸込グリルのはずしかた参照)。
- 取付ネジ(4カ所)をはずします。

- 下図のように吹出口部に親指を掛け、底面の「-」マーク部分を押しながら手前に引き、室内ユニットの下部ツメ(2カ所)を据付板のひっかけ部からはずします。

- 前面パネルの下側を手前に引き、下部ツメを本体からはずします。

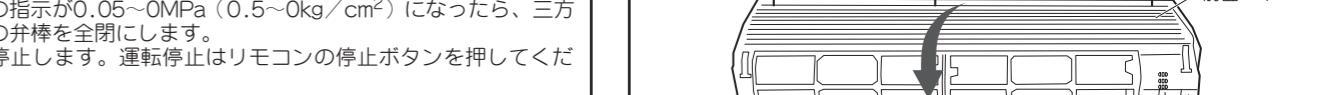


- 前面パネルの下側を手前に引き、前面パネルをはずします。



### 前面パネルの取付けかた

- 前面パネルの下面側を先に正面からかぶせ、下部と上部のツメはめ込みます。(本体上部の左右2カ所、据付板上部中央1カ所、本体下部6カ所)



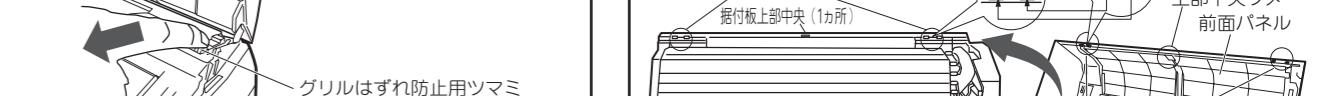
- 下部ツメ(6カ所)



- 上部穴(左右2カ所)



- 上部中央ツメ(1カ所)



### 吸込グリルのはずしかた

- 吸込グリルを水平になるまで開きます。



- 片手で吸込グリルをささえ、左右上部のグリルはすれ防止用ツマミを手前に引きロックを解除します。

